

# 伸びゆく子

栗東市立大宝東小学校だより No.8

令和7(2025)年1月7日

児童数 352名

心あたたか活気みなぎり、仲間と共に伸びゆく子

だれにでも優しい子 いきいき学ぶ子 とつながる子 がんばりぬく子

令和7年(2025年)の年頭にあたって

中川 章子

3学期が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。新しい年の始まりに際し、引き続きお力添えを賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。



今年の干支は、「へび(巳)年」です。お正月の新聞\*には、「脱皮をくり返すことから、『復活と再生』を象徴する。」と書いていました。また、「へびの形をした漢字『巳』は、草木の成長が限界に達して新たな生命をつくる時期を意味し、胎児の姿でもある。」とも説明されていました。昨年は、お正月から大地震が発生し、9月には記録的な豪雨にも見舞われるなど、石川県やその周辺地域の皆さんにとっては本当に大変な一年となりました。先の新聞\*では、昨年12月下旬時点で2万人を超える方々が避難を余儀なくされているとのこと。巳年の言われどおり、能登地方の方々が一日も早い「復活と再生」ができるよう、改めて自分たちにできることを見つけてやっていきたいと思えます。(\*出典：京都新聞 2025.1.1 朝刊)

さらに、令和7年(2025年)は、60年に一度巡ってくる「乙巳」の年で、「成長や発展」を象徴すると考えられているとのこと。大宝東小学校のみんなが新しい年の始まりにあたり、気持ちを一新し、新しいことにどんどんチャレンジし、さらに大きく成長していけることを願っています。

**今年も合言葉は「だ・い・ひ・が」— 互いの違いを認め、周りをつなぐ努力を!**

前出の新聞\*には、新年にあたり「久石 譲 さん(スタジオジブリ作品などの映画音楽で知られる作曲家)」のインタビュー記事も大変印象に残りました。記事は「戦後80年と言いますが、僕はもう戦後ではなくて『戦前』だと感じます。」というとても衝撃的な久石さんの一言から始まり、現在も世界各地で起こっている戦争に思いをはせるとともに、またこんなことも語っています。「コンサートで世界中を回りながら感じるの、人々がお互いの『違い』ばかりを言うようになってしまったということです。(中略)『違いはあるけど一緒にやろう』という風潮はなくなってしまった。今では想像以上に世界はぎくしゃくし、あらゆるところで分断が起きています。(中略)世界中できな臭い雰囲気が漂っている今こそ、『みんな自分の考えをちゃんと持たないとまずいよね』と伝えたい。」と、ご自身の思い(僕は戦争は良くないと思う)を音楽にし、「みんなはどう思う?」と問いかける久石さん。さらに彼はこう続けます。「大切なのは『つながり』です。海外のオーケストラを指揮して気付いたのは、年齢も能力も違うさまざまな人がいるからこそ、自分たちのサウンドが作れるということです。お互いの『違い』を認め、周りをつながっていく。そのための努力をしていくことが今の社会に必要なだと思います。(傍線は中川による)」この記事を読んで、久石さんはこれからの社会や私たち大人のあり方に対しても示唆に富む発言をされていると強く感じました。お子様たちが羽ばたく未来の社会は、平和でなくてはなりません。そのためにも、大人がつながりを大切にしていだけでなく、学校においても、本校の学校目標である「だ(だれにでも優しい子)・い(いきいき学ぶ子)・ひ(人とつながる子)・が(がんばりぬく子)」をみんなの合言葉にして、今年も、子ども同士、子どもと大人が互いの違いを認め合い、つながりあって、素敵なハーモニーを奏でられるよう努力をしていきたいと思えます。

今後の主な行事

- 1月 9日(木) 給食開始
- 1月 11日(土)~13日(月) 電気設備配線作業 (※学校敷地内立ち入り禁止)
- 1月14日(火) 6年薬の話
- 1月15日(水) お楽しみ読書タイム 6年心理の授業 ココロの健診日
- 1月 18日(土)、19日(日) 電気設備切り替え作業 (※学校敷地内立ち入り禁止)
- 1月 20日(月)委員会 ぐらしの日
- 1月 22日(水)防災教室
- 1月 27日(月)クラブ活動 ココロの健診日 なかよしの日



「チームだいひが」紹介  
よろしくお願いします!

理科専科教員  
藤井 隆一



4・5年生の理科  
を担当します。